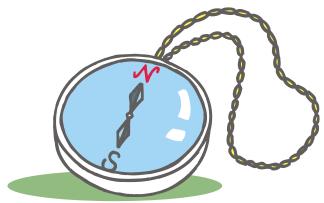


羅 針 舶



第 3 号

令和5年4月24日(月)

◆ 「強い意志」

今年度の入学式で、新入生の皆さんにお話した持ち続けてほしいことの二つ目は、「強い意志」を持つということです。まずは、「何をしたいのか」という自分の素直な気持ちと向き合うことです。何かに挑戦することは、とても素晴らしいことです。ただ、「始めたい」という気持ちと同時に、時間がなくて忙しいかもしれない、続けることができるだろうか、自分には夢のようなことで無理なのでは、といった考えを持ってしまうこともあるでしょう。うまくいかないのではないかといったためらう気持ちを誰もが持ってしまうことがあります。それでも、自分が信じたことや、やってみたいという思いを大事にすることの方が優先されるべきです。人間は自分が思った方向へと考えが帰着していくものです。大切なのは、「やってみよう」と素直に考えた自分自身の気持ちであり、それを強く願い、思うことで、「強い意志」といったものがつくられていくはずです。「強い意志」は、生きていくために大切な「心の力」です。「強い意志」、それは、正しいことを勇気を持って実行する心であり、困難な出来事にも屈すことなく粘り強く最後までやり抜く心、つまりは、今やるべきを見据えてしっかりと行動する心のことです。自分を大切にする気持ちや、他の人を大切に思う気持ちを支える心であったり、自分自身の持つ目標や夢を実現させていくために必要な心であるとも言えます。「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。」この言葉はアメリカの心理学者であり、哲学者でもあるウィリアム・ジェームズが残した言葉ですが、私たちが学ぶべき真理を言い表した言葉であると思います。積極的にチャレンジする、そのための明確な「強い意志」を持つことで、人生における可能性といったものが無限にひろがっていくはずです。有意義な中学校生活を過ごしていくためにも、生徒の皆さんには是非「強い意志」を持ち続ける人であってほしいと願っています。



◆ 「探求」から「探究」へ

「探求」は、物事を得ようと探し求めることを意味する言葉で、物事を追い求める行動を表しています。一方、「探究」は、物事の本来の姿やあり方を探り、その物事を明らかとする、あるいは、見極めることを意味する言葉で、「探求」とは違って、追い求めるだけでなく、深く掘り下げる学び、物事を見極めることに価値を見つける必要を伴うこととなります。これから時代に求められているのは、「究める」ことに価値を有する問題を解決していくための「探究学習」です。生徒の皆さん自身が課題を解決するために動いていくことでの連続した学習活動ということになります。生徒の皆さん自身が、自ら課題を設定することから始まって、課題を解決するために必要な情報を収集し、収集した情報を整理し、そして、分析を行い、時には周囲の仲間と協働しながら課題の解決に向けて学習を進めていくこととなります。これまでの受動的な学びとは違って、能動的に学習を進めることで、思考力や判断力を培うことができ、表現する力といったものが高まる「探究学習」に積極的に学びを進めてほしいと思います。

